

# テクノス通信 VOL. 4

Sep.2009



## 「現場でよく耳にする、離床センサー運用上の課題」

今回は、よく現場で耳にする離床センサーの3つの課題とその対策方法を、今秋発売の新製品・新機能も併せてご紹介いたします！

### 1. ケーブルの断線・センサー破損が多い

#### ●修理のトップは「断線故障」

離床センサーの修理で一番多いのがセンサーから出ているコードの断線です。断線は、何らかの原因でコードを強く引っ張ったり、コードに局部的に大きな荷重がかかることによって起こります。また、センサーの内部電極破損の修理も断線に次いで多く、折り曲げ線以外でセンサーを曲げたり、断線同様センサーに局部的に大きな荷重をかけることが原因と考えられます。しかしながら、その故障頻度は病院・施設様によって異なり、現場での取り扱い方によって差があるようです。「センサーの修理が多くて困っている・・・」という病院・施設様は現場での離床センサーの取り扱いについて下図でチェックしてみてください。

#### <断線やセンサー破損につながる行動をチェック>

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
センサーを移動、持ち運ぶ際 ついついケーブルを持ってしまふ	ベッドのキャスターなど重いものを 載せることがある	患者さんや介助者がコードに足を ひっかけることがある	接続された状態のセンサーを 引っ張って移動する

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
折り曲げ線以外でセンサーを 曲げることがある	コードが対象者の目に入りやすい位置に にある

チェックが0～1個 **★★★★Excellent!!**  
管理・運用が徹底されていますね！

チェックが2～4個 **★★★Bad**  
管理・運用面を見直して、チェックを1つ  
でもなくしてくださいね。

チェックが5～6個 **Very Bad ( ;\_ ; )**  
製品の寿命を縮めている可能性があります。  
管理・運用方法を見直し、徹底しましょう。

#### ●断線を減らすためのポイントは「配線の工夫」と「センサーの取り扱い」

<b>配線</b>	<b>配線</b>	<b>管理・運用</b>	<b>管理・運用</b>	<b>保管</b>
患者さんに見えにくく、邪魔に ならない配線を行う 例)ベッド下をくぐらせる	足を引っ掛けやすい、手が触れ やすい位置のコードはテープ で固定する	製品を置く時は折り曲げ 線に沿って置く	センサーの上に重い物を置 いたままにしない	移動、持ち運ぶ際には箱など で管理するようにする(部材紛 失防止にも効果的です)

#### ●断線ゼロ・配線不要の『コードレス』は「安心」「安全」「楽ちん」

「対象者が頻繁に変わる中、いちいち配線を考えるのも面倒」、「これ以上ベッド周りにコードを増やすのは危険」そんなユーザー様の声から開発されたのが、業界初の新設計『コードレスセンサー』です。センサーから全くコードがない事により、患者さんにとって安全なだけでなく断線の心配もなく、配線も不要です。センサーを移動させたい時や、一時保管したい時などにコードを気遣う手間いらずで忙しい看護師さんの味方です！

無線送信器内蔵

コールマット・コードレス (HC-R)

【昼間はベッド横に】

コードがないので・・・

- ・設置が簡単！
- ・配線不要！
- ・断線故障ゼロ！
- ・患者さんに安全！

【夜間は出入りに】

設置場所を変えるだけ！

足元すっきり！  
コードがありません

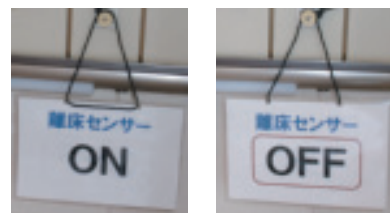
## 2. 離床センサーのスイッチを入れ忘れてしまう・・・

### ●意外に多い「スイッチの入れ忘れ」

ベッド周りで作業している時に離床センサーのスイッチをオフにして、ついついオンにすることを忘れてしまう・・・なんて声をよく耳にしますが、「覚えておいて後でやる」という作業は、次々と仕事が舞い込んでくる看護現場ではなかなか難しいですね。福岡県・Y病院様では、ヘッドボードにON/OFFボードを取付けスイッチの入れ忘れを防ぐ対策をとられています。

#### 【スイッチ入れ忘れ防止対策例】

- ・ヘッドボードにON/OFFカードを取付ける
- ・居室カーテンにON/OFFボードを取付ける
- ・勤務交代の申し送りの際に「ご家族が面会中で離床センサーのスイッチはオフにしている」などの情報を伝える



【参考：福岡県・Y病院様の ON/OFF ボード】

### ●新機能「一時停止」機能でスイッチの入れ忘れを防止

#### コードレスタイプ・無線中継ボックスに新機能が登場！！



一時停止  
ボタン

無線中継ボックスに「一時停止ボタン」が付きました。

一時停止ボタンを押すと、5分間電源がオフの状態になり5分経てば自動的に復旧しオンの状態になります。

電源スイッチの入れ忘れを防ぎ、ベッド周りの作業時に便利です！

#### 新・無線中継ボックス

※無線中継ボックスはコードレスセンサーとナースコールを連動させるための中継機器です。ケーブルタイプには一時停止ボタンはありません。

## 3. 離床センサーの報知音とナースコールの鳴り分けをしたい

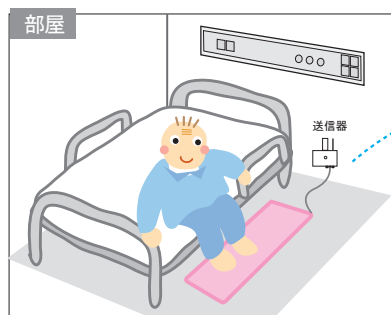
### ●ナースコール連動タイプの報知音は、ナースコールシステムに依存

ナースコール連動タイプのセンサーが報知すると、ついついコールと同じように返事をしてしまうので、「離床センサーとナースコールとの鳴り分け」を希望されるユーザー様は少なくありません。しかし、通常は離床センサーの報知とコールの鳴り分けをすることは不可能です。(ナースコールシステムの中には、離床センサー専用のコンセントを設けているものもあり、そのコンセントを利用すればコールと離床センサー報知の識別が可能です。詳しくは、ナースコール施工業者様にお問い合わせください)

### ●専用受信器タイプで離床センサーの報知とコールを識別

専用受信器タイプを使用することにより、ナースコールの報知音と区別ができることはもちろんですが、テクノスジャパンの専用受信器タイプはセンサーごとに報知音や表示を設定する事ができ、それにより対象者の識別も可能です。

#### 新しくなった専用受信器タイプ『ハイパーシリーズ』



無線  
通達距離  
約100m(見通し)  
(特定小電力)

#### 受信器は2タイプ



#### 携帯タイプ

受信器を携帯して自由に移動できます。



#### 固定タイプ

ナースステーションに設置した受信器でお知らせします。

- 組み合わせが自由になりました！ - 送信器を共通にし、各種センサーから両タイプの受信器への報知が可能になりました。
- 送信器に新機能がつきました！ --- ボタンを押すと5分間作動を停止する「一時停止」機能を搭載しました。
- 無線中継器が登場！ ----- 電波到達距離を約100m(見通し)延長でき、専用受信器の利用範囲が広がります。
- 価格をおさえました！ ----- 製造にかかるコストを抑え、以前よりもお求め安い価格にしました。

### ちょっとした失敗話

Y病院様では、対象者のベッド上での起き上がりを知らせる『ベッドコール』を使用していますが、センサーの頻回報知に頭を悩ませていました。コールを聞いて駆けつけても、いつも対象者の方は寝ている状態なのです。話を聞いた担当営業が現場で確認してみると、ベッドセンサーがベッドに対し縦長に設置されていました。これでは、少し動くとセンサーから身体が離れてしまうので、寝返りをうつ度に報知してしまいます。実は、このようなケースは稀ではありません。介助者の負担を減らそうとセンサーを使用しても、運用間違いにより逆に負担になることがあります。そんなことを避けるためにも、正しい使用方法を確認してくださいね。

#### ○ 正しい設置方法

ベッド幅いっぱいに広げ対象者の肩～腰にかけて設置

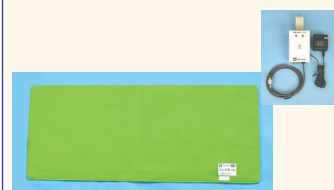
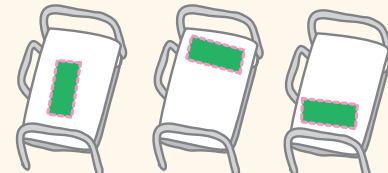


#### ポイント

寝返りをうっても常に身体の一部がセンサーに接し、起き上がると完全にセンサーから離れる位置に設置してください。

#### ✕ 間違った設置方法

縦長に設置    上すぎる    下すぎる



ベッドコール・コードレス (BC-R)  
対象者の起き上がりを知らせます

次回は、病院様での離床センサー管理方法をご紹介します！楽しみに！

無断の複製、転載は固くお断りいたします。

Copyright (C) 2009 Technos Japan Co., Ltd. All Rights Reserved.